

能登半島地震の災害派遣に参加しました

田布施町社会福祉協議会：松田 洋和



8月14日（水）～20日（火）、田布施町社会福祉協議会から石川県輪島市社会福祉協議会に災害ボランティアとして派遣されました。

現地では主にボランティアでの手助けが必要の方がいないか、高齢者の一人暮らし等で困っている方がいないかなど一軒ずつ家を訪ねて聴いて回るローラー調査、ボランティアでの作業が必要なお宅に伺い状況などを確認し記録する現地調査および『災害ボランティアセンター』の運営業務にあたりました。

能登半島では17年前にも大きな地震があり、そ

の時に家を建て替えた
り、修繕した家が多く、
今回の地震で再び家が被
害を受け、また家を建て
直したり修繕して輪島市
に住むかを悩んでおられ
る方も多くいらつしやる
との事でした。また『震
災後の2次避難先として
多くの人が金沢市に避難
したが戻って来られるか
不透明なまま、今後この
地区の存続がどうなつて
いくのか：』などと心配
される方も多くいらつ
しゃいました。



ちになりました。

現地はまだ震災被害の
あった家屋がそのまま
ある箇所もあり、道路も
通行は出来るものの隆
起・陥没している箇所が
多くあり、復興までまだ
まだ時間がかかるという
印象でした。

現地の輪島市社会福祉
協議会の職員の方も『最
近では能登半島地震の報
道量も少なくなってきた
いるが、復興にはまだま
だ時間がかかる。今回の

災害派遣で見た事を帰っ
ても伝えて欲しい』と訴
えておられました。その
ような中、能登半島でま
た9月21日に豪雨災害が
あり甚大な被害が出てい
るとい報道を目にし、復
興に向け少しずつ進みだ
していた方達の気持ちを
思うと筆舌に尽くしがた
いものがあります。

今回の災害派遣での経
験を活かすような事が無
い方が良いのですが、災
害はいつ起こるか分かり
ません。災害に備え・起
きた後も対処が出来るよ
うに普段の業務から取り
組んでいきます。

今後、被災された方へ
のより一層の心のケアで
あったり、生活の再建に
向けての支援が必要に



なってくるものと思われ
ます。そのような活動を
支援するため、社会福祉
協議会では共同募金会を
通じて石川県に義援金を
届けるための募金箱を設
置していますのでご協力
をお願いします。



田布施町社会福祉協議
会では災害ボランティア
の事前登録を受け付けて
います。災害ボランティ
アの活動は力仕事だけで
ありません。ボランティア
アセンターの運営・外部
から来てくれたボラン
ティアさんの道案内など
色々な活動があります。
関心のある方は社会福祉
協議会までお問合せくだ
さい。

■社会福祉協議会

☎ 53・1103